資料１

男女がともに活躍できる社会へ

内閣府
男女共同
参画局

「ジェンダー統計整備状況調査」調査結果について

令和７年５月19日
内閣府男女共同参画局

※本資料に掲載している結果は速報値であり、後日変更になる可能性がある。

第５次男女共同参画基本計画におけるジェンダー統計に関する記述内容

Ⅳ　推進体制の整備・強化

２　男女共同参画の視点を取り込んだ政策の企画立案及び実施等の推進

（２）具体的な取組

③　男女の置かれている状況を客観的に把握するための統計（ジェンダー統計）の充実の観点から、各種統計の整備状況を調査し、公表する。また、ジェンダー統計における多様な性への配慮について、現状を把握し、課題を検討する。業務統計を含む各種調査の実施に当たり、可能な限り男女別データを把握し、年齢別・都道府県別にも把握・分析できるように努める。また、男女共同参画に関する重要な統計情報は、国民に分かりやすい形で公開するとともに、統計法に基づく二次的利用を推進する。【全府省】

各種統計における男女別データの有無等の状況を把握するため、
「ジェンダー統計整備状況調査」を実施

➡ **男女の別欄の有無の実態を概括的に把握**

【調査趣旨】

- 政府統計におけるジェンダー統計整備状況を概括的に把握し、今後のジェンダー統計の充実に向けた検討の基礎資料とすること。

【調査対象】

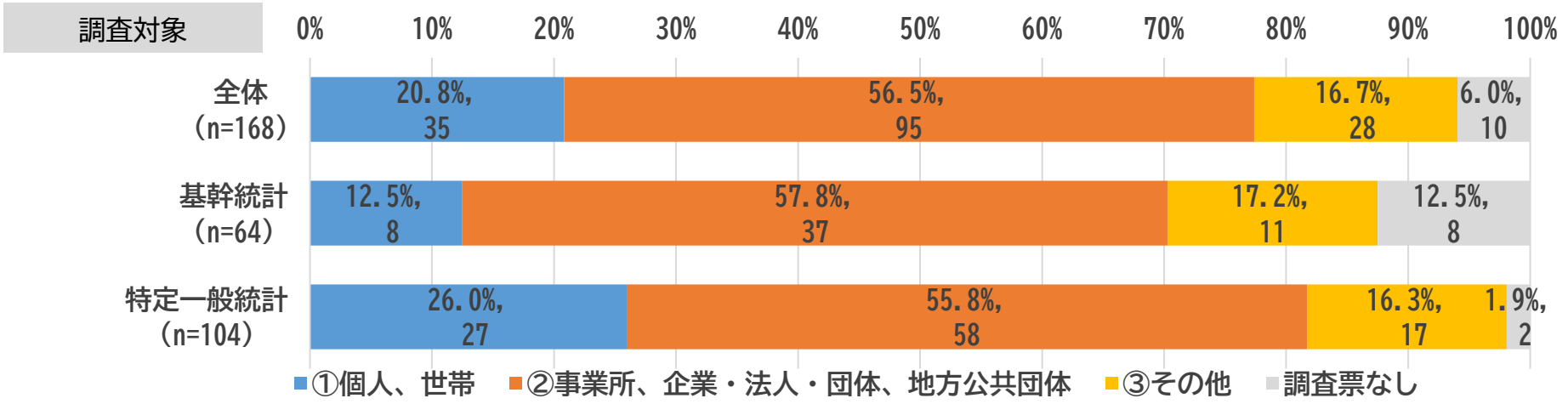
- 広く国民がアクセス可能な公表されている政府統計として、政府統計の総合窓口“e-Stat”に掲載されている政府統計データを対象。
- 政府統計863件(令和６（2024)年11月時点）のうち、令和５年度調査は「基幹統計」（64件）、令和６年度調査は「特定一般統計※」（104件）を対象とし、計168件を対象として調査。

※国の行政機関が行う統計調査は、「基幹統計」を作成するために行われる「基幹統計調査」と、それ以外の「一般統計調査」とに分けられる。
「一般統計調査のうち」、重要・広範に利活用され、その品質が重要政策や多くのユーザー等に影響する一般統計調査が「特定一般統計調査」に指定されている。

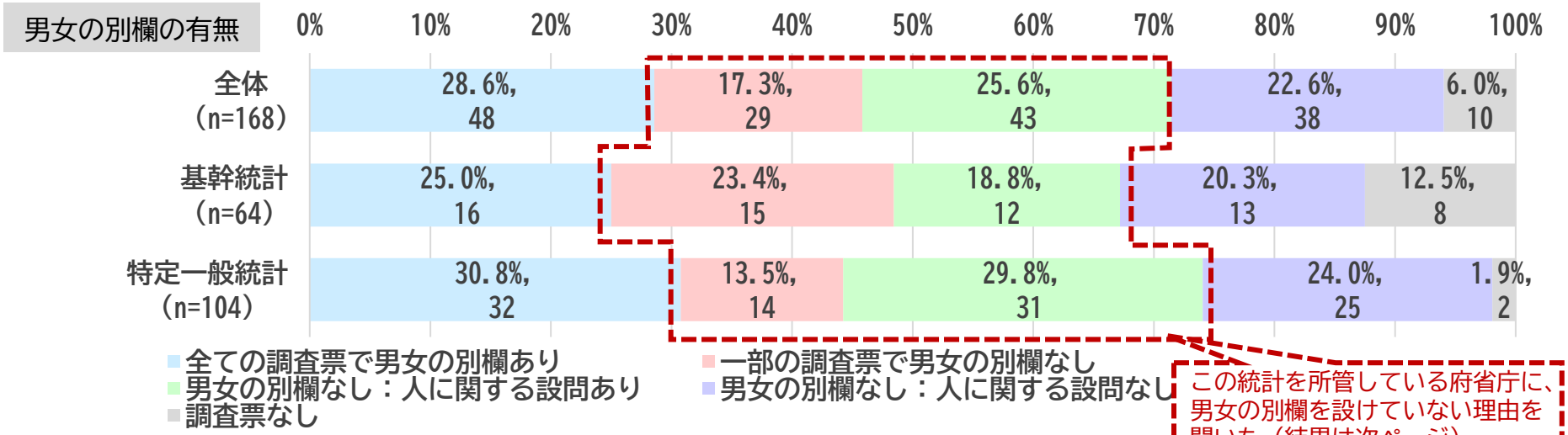
※本資料に掲載している結果は速報値であり、後日変更になる可能性がある。

基幹統計及び特定一般統計を対象とした「調査票上の男女の別欄の有無」

○ 全体的な傾向として、「②事業所、企業・法人・団体、地方公共団体」を対象とした統計調査が多い。



○ 基幹統計では**「一部の調査票で男女の別欄なし」**が多く、特定一般統計では**「男女の別欄なし：人に関する設問あり」**が多い。統計の種類によって男女の別欄の整備状況に差がみられる。



※本資料に掲載している結果は速報値であり、後日変更になる可能性がある。

基幹統計及び特定一般統計の「調査票上に男女の別欄がない理由」（府省庁ヒアリング結果）

※いずれも複数回答。

○ 全体的な傾向として、**「1. 調査目的から、男女別を把握する必要がないと判断したため」**が最も多い。

統計種類別	統計数	（参考）回答数	1.調査目的から、男女別を把握する必要がないと判断したため		2.別の調査で、男女別の統計情報を収集しているため		3.男女の別欄を設けることを検討したことがなかった		4.その他	
全体	**57**	68	44	77.2%	6	10.5%	14	24.6%	4	7.0%
基幹統計	**19**	22	12	63.2%	3	15.8%	5	26.3%	2	10.5%
特定一般統計	**38**	46	32	84.2%	3	7.9%	9	23.7%	2	5.3%

○ 統計の数が多い「②事業所、企業・法人・団体、地方公共団体」においては、
「3. 男女の別欄を設けることを検討したことがなかった」も多くなっている。

調査対象別	統計数	（参考）回答数	1.調査目的から、男女別を把握する必要がないと判断したため		2.別の調査で、男女別の統計情報を収集しているため		3.男女の別欄を設けることを検討したことがなかった		4.その他	
①個人、世帯	4	4	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%
②事業所、企業・法人・団体、地方公共団体	**44**	53	33	75.0%	5	11.4%	12	27.3%	3	6.8%
③その他	**9**	11	9	100.0%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%
計	**57**	68	44	77.2%	6	10.5%	14	24.6%	4	7.0%

○ 調査分野別でみると、「運輸・観光」で、
「3. 男女の別欄を設けることを検討したことがなかった」も多くなっている。

調査分野別 ※統計数の多い５分野を掲載	統計数	（参考）回答数	1.調査目的から、男女別を把握する必要がないと判断したため		2.別の調査で、男女別の統計情報を収集しているため		3.男女の別欄を設けることを検討したことがなかった		4.その他	
社会保障・衛生	**13**	13	10	76.9%	2	15.4%	0	0.0%	1	7.7%
農林水産業	**9**	10	8	88.9%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%
企業・家計・経済	**7**	9	4	57.1%	2	28.6%	2	28.6%	1	14.3%
運輸・観光	**6**	10	5	83.3%	0	0.0%	5	83.3%	0	0.0%
住宅・土地・建設	**7**	8	6	85.7%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%

※本資料に掲載している結果は速報値であり、後日変更になる可能性がある。